

一般社団法人画像診断研究・振興・普及協会

平成 24 年度（H24. 1. 1-12. 31）事業報告書

当法人は平成 22 年 3 月 1 日に設立された。当法人は、画像診断の研究や支援を通して画像診断の普及を図る活動を行い、もって学術及び科学技術の振興に寄与することを目的とし、その目的に資するため、次の事業を行うことを定款に謳っている。

1. 画像診断の研究開発事業およびその研究成果の臨床応用を支援する事業
2. コンピュータやネットワークによる画像診断支援技術の研究開発事業及び臨床導入を支援する事業
3. 画像診断支援技術を用いた画像診断を提供する事業及びそれを支援する事業
4. その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

平成 24 年度の事業内容概観

研究事業に関しては前期に行った「コンピュータ支援診断技術の開発促進のための統合型読影支援環境の実用化に向けた実証研究」の読影医からのフィードバックを当法人の資金を使用して 1 件当たり 300 円で継続し、5528 件分を援助した。CAD を用いることによる読影報告書品質の向上が得られるであろうことを考えて、今後も継続する予定である。

平成 24 年度には遠隔読影業務自体の事業拡張は行っていないが、平成 23 年度途中開始の診療所の分の自然増と既存診療所の件数の増加分により遠隔読影件数が 9107 件から 12347 件と 35%増となっている。

平成 24 年度の事業内容は下記のとおりである。

1. 画像診断の研究開発事業およびその研究成果の臨床応用を支援する事業
 - 該当事項なし。
2. コンピュータやネットワークによる画像診断支援技術の研究開発事業及び臨床導入を支援する事業
 - 大学病院と市中病院の間の画像診断支援に関する共同研究を支援する事業。
 - 株式会社 JMAC と東大病院放射線科、株式会社イーサイトとともに経済産業省の研究支援事業に「コンピュータ支援診断技術の開発促進のための統合型読影支援環境の実用化に向けた実証研究」の継続。
3. 画像診断支援による営利事業
 - 遠隔画像診断支援：1 病院、2 病院を継続中。
 - 1 病院の撮像技術指導を 2010 年 1 月より継続中。
4. その他事業
 - 該当事項なし。

以上。